

事務事業調書

平成26年度

事業No	437	課	環境クリーンセンター	係	施設係	起案者	上原幹久
						決裁者	沓名勉
事務事業名	ごみ焼却施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 2 資源循環 1 ごみ 4 適正処理 1 ごみ焼却施設整備			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		20-10-15		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	【H24. 9】ごみ焼却施設の基幹的設備の更新と定期的な保全整備で、３０年間の使用を可能とする。						
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成09年度	経過	17年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市民が			～になる	安心して可燃ごみが出せる。		
事務事業の内容	ごみ焼却施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。施設の保守点検を適正に行い、施設整備を行うことで、安定燃焼できるよう健全性を維持します。							
改善・対策の履歴	【平成17年度～】ごみ搬入物検査やごみ分別指導をすることでごみの減量を啓発しました。【平成23年度】焼却炉の精密機能検査を実施し、基幹改良のための、地域計画、長寿命化計画を作成しました。【平成24年度】施設の長寿命化のため、基幹的設備改良工事を発注しました。【平成25年度】基幹的設備改良工事として、中央監視制御装置の更新をしました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	937,133	939,873	1,470,546	1,331,300	1,418,848
財源計	884,843	871,203	1,397,466	1,256,330	1,345,768
財源の内訳	国庫支出金	0	88,000	170,992	76,270
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	143,653	238,000	248,599	244,000
	一般財源	741,190	1,071,466	836,739	1,025,498
受益者負担金	143,653	146,343	138,000	148,599	144,000
職員人件費 (従事職員数)	52,290 (8.30)	68,670 (10.90)	73,080 (11.60)	74,970 (11.90)	73,080 (11.60)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	ごみ焼却施設運転維持管理委託	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託業務(一式)	活動の総事業費(千円)	199,251	208,196	210,086	
			活動にかかるコスト(千円)	199,251.00	208,196.00	210,086.00	
活動2	活動名 (活動内容)	ごみ焼却施設保守整備委託等	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	施設点検整備(一式)	活動の総事業費(千円)	737,882	725,377	1,121,214	
			活動にかかるコスト(千円)	737,882.00	725,377.00	1,121,214.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	運転ミスによる施設停止(回)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	整備した機器の故障による運転停止(回)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	施設の長寿命化のため、基幹的設備改良工事(中央監視制御装置の更新)を行いました。保守点検を行い、4件の整備工事、空調設備更新工事及び施設改善工事を実施しました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成9年3月竣工の施設で経年的な劣化が進行しており、緊急修理の増加傾向が課題となっています。さらに、現施設を30年間使用可能とする延命化計画に基づく整備でコストが増加しています。
成果	平成25年度は約49,781トンのごみが焼却炉を停止させることなく適正に処理できました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
ごみ焼却は、市民の生活に直結する処理事業であり、常に安定したごみ焼却処理が求められます。設備の老朽が進む中、延命化を図りながら安定稼働が継続できるような整備、維持補修を行い予防保全に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	現在のごみ焼却施設の処理能力を考慮し、施設の延命のための保守・工事期間の調整をしっかりと行い適正な運転管理をします。

事務事業調書

平成26年度

事業No	438	課	環境クリーンセンター	係	施設係	起案者	神谷裕幸
						決裁者	沓名勉
事務事業名	ごみ焼却灰溶融化事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 2 資源循環 1 ごみ 3 最終処分量の減量化 1 焼却灰の熔融化			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		20-10-15		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成16年度	経過	10年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市が			～になる	焼却灰を安全に処理できる。		
事務事業の内容	焼却灰等の最終処分場である（公財）愛知臨海環境整備センターに搬入しています。その他の埋立処分先として、焼却灰の処分のリスク分散のため、民間事業者へも焼却灰の処分委託を行っています。また、溶融処理委託をして、発生する無害化されたスラグは公共事業にリサイクル使用しています。							
改善・対策の履歴	【平成21年度】 焼却灰処理を将来に向けた危機回避を含めて県外に民間最終処分場を1箇所選定しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	163,691	153,621	161,780	152,767	162,768
財源計	155,501	143,541	151,700	142,687	156,468
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	155,501	143,541	151,700	142,687
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	8,190 (1.30)	10,080 (1.60)	10,080 (1.60)	10,080 (1.60)	6,300 (1.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	焼却灰の溶融業務委託	見込	1,500.00	1,000.00	1,000.00	0.00
			実績	1,509.00	1,019.00	1,022.00	
	指標名 (単位)	溶融処理量(t)	活動の総事業費(千円)	69,900	50,905	51,274	
			活動にかかるコスト(千円)	46.33	49.94	50.16	
活動2	活動名 (活動内容)	スラグのリサイクル使用 支援業務	見込	900.00	600.00	600.00	0.00
			実績	948.00	531.00	676.00	
	指標名 (単位)	使用量(t)	活動の総事業費(千円)	4,521	4,416	4,483	
			活動にかかるコスト(千円)	4.77	8.32	6.63	
活動3	活動名 (活動内容)	焼却灰の埋立業務委託	見込	4,800.00	5,900.00	5,500.00	0.00
			実績	4,868.00	5,496.00	5,334.00	
	指標名 (単位)	埋立処理量(t)	活動の総事業費(千円)	89,270	98,300	97,010	
			活動にかかるコスト(千円)	18.34	17.89	18.19	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	76.00	86.00	85.00	70.00
	焼却灰の埋立率(%)			実績	76.30	84.40	83.90	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	70.00	達成状況	未達成	達成	達成
	ごみの最終処分(埋立て)量(t)			目標	5,450.00	6,590.00	6,490.00	5,700.00
成果2				実績	5,558.00	6,203.00	6,155.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	5,700.00	達成状況	未達成	達成	達成

5 成果 1、2 以外の成果	
成果	焼却灰を溶融化することで埋立量を減少させることができました。また、焼却灰の溶融化で発生するスラグを河川改良等で資源として有効にリサイクルすることができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	溶融量が固定化されたため、埋立率や埋立量は、焼却灰の発生量に因ります。スラグの購入費用のうち運搬費が大きな割合を占めています。
成果	市の公共工事等におけるスラグの利用は、公園やリサイクル施設の地盤改良、河川の環境美化や農道の整備に活用しました。

7 所属長の改善案				コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案				
				焼却灰の最終処分場の計画と動向を把握するとともに、費用面・環境保全を考慮して適正な処理をします。				

8 方向性				必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性				
維持・継続				ごみ焼却により発生する灰について埋立と溶融により処理します。				

事務事業調書

平成26年度

事業No	439	課	環境クリーンセンター	係	施設係	起案者	杉浦雅樹
						決裁者	沓名勉
事務事業名	し尿処理施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 2 資源循環 1 ごみ 4 適正処理 2 し尿処理施設整備			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		20-10-15		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和63年度	経過	26年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	し尿浄化槽を利用している市民が			~になる	し尿汚泥を安心して処理できる。		
事務事業の内容	し尿処理施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。施設の保守点検を適正に行い、施設整備を行うことで、安定処理できるよう健全性を維持します。							
改善・対策の履歴	し尿処理施設の整備計画を見直し、適正な放流水として処理が継続できるよう予防保全を行いました。 【平成20年度】放流水に異常が発生した場合、自動的に放流をやめる再処理システムの改善を行いました。 【平成25年度】経費削減のため、現施設を2系統処理から1系統処理に切替えました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	162,118	158,259	185,618	140,455	156,833
財源計	140,698	136,209	174,278	131,005	148,013
財源の内訳	国庫支出金	0	1,000	952	4,802
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	140,698	136,209	173,278	130,053
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	21,420 (3.40)	22,050 (3.50)	11,340 (1.80)	9,450 (1.50)	8,820 (1.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	し尿処理施設運転維持管理委託	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託業務(一式)	活動の総事業費(千円)	44,478	44,352	48,762	
			活動にかかるコスト(千円)	44,478.00	44,352.00	48,762.00	
活動2	活動名 (活動内容)	し尿処理施設保守整備委託等	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	施設点検整備(一式)	活動の総事業費(千円)	117,640	113,907	91,693	
			活動にかかるコスト(千円)	117,640.00	113,907.00	91,693.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
	運転ミスによる施設停止(回)			実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	指標名(単位)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
	整備した機器の故障による運転停止(回)			実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果	
成果	日常点検を行い、計画的に施設整備を実施しました。し尿処理施設は汚水の浄化作業が業務であり最終目標である放流水の水質維持を法規制値数値内で処理できました。経費削減のため、現施設を2系統処理から1系統処理にするための実証試験を行い、良好な結果が得られたため、本格稼働を始めました。また、下水道放流施設へ改造するために必要な施設整備基本計画を作成しました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等 昭和62年の竣工で老朽化が進んでいますが、下水道放流施設への改造計画があるため、施設や機械の更新は行わないなど、修繕費用はできるだけ抑えています。
成果	運転管理者との毎日の打ち合わせと定期検査、適切な運転管理により法規制値を遵守した処理水を放流できました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案 昭和62年の竣工施設であり老朽化しつつあることから修繕的な内容が多く、日常点検と計画的な施設整備に努めます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	下水道の普及にはまだ長い年数を必要とされることから、施設設備の計画的な修繕及び維持管理を実施することで施設の延命を図ります。